

古典主義とロマン主義

1 主義：18世紀末～フランス革命期。理性的で均整のとれた様式。

2 仏 義：仏革命を描く。『球技場の誓い』『サン=ベルナル峠を越えるボナパルト』 **A**
『ナポレオンの戴冠式』 **B**

3 独 ア ン ゲ ル：理想的な女性美を描く。『泉』『グランド=オダリスク』

☆ドイツ古典主義文学：ギリシア・ローマの古典文学に学び、形式美を重視。

4 独 義：『若きヴェルテルの悩み』で疾風怒濤運動(⇒ロマン主義)。叙事詩『ファウスト』

5 独 義：戯曲『群盗』、史劇『ヴァレンシュタイン』、『ヴィルヘルム=テル』、『オルレアン』の娘』

5 主義：19世紀前半、仏革命への反動から、歴史と伝統、感情と個性を重視する。

6 西 義：幻想的な画風。『1808年5月3日』 **C**、『裸のマハ・着衣のマハ』

7 仏 義：現代史を題材。『キオス島の虐殺』 **D**、『民衆を導く自由の女神』 **E**

☆ロマン主義文学

8 独 義：小説『青い花』、詩集『夜の賛歌』で、死と夢の世界へのあこがれをうたう。

9 独 ヘルダーリン：哲学者ヘーゲルと交友。『ヒューペリオン』でギリシア独立と献身的な愛を描く。

10 独 兄弟：言語学者。ドイツ・北欧諸国の民話を収集。『独語辞典』『童話集』

11 独 ユダヤ系の詩人。七月革命で仏へ亡命。叙情詩『歌の本』はドイツで発禁に。

12 英 義：放浪の詩人。ギリシア独立戦争で病死。『チャイルド=ホルドの巡礼』『ドン=ジュアン』

13 仏 義：共和派の議員として第二帝政に抵抗。小説『ノートルダム=ド=パリ』、『レ=ミゼラブル』

14 米 義：詩集『草の葉』。俗語を用い、自由・平等・友愛の精神、庶民生活と肉体を賛美。

露 義：ロシア語文学を確立。史劇『ボリス=ゴドノフ』、小説『プガチョフ反乱史』、『大尉の娘』

- 1.(新)古典 2.ダヴィッド 3.ゲーテ 4.シラー
- 5.ロマン 6.ゴヤ 7.ドラクロワ 8.ノヴァーリス
- 9.グリム 10.ハイネ 11.バイロン 12.ユーゴー
- 13.ホイットマン 14.プーシキン



▲A



▲B



▲C

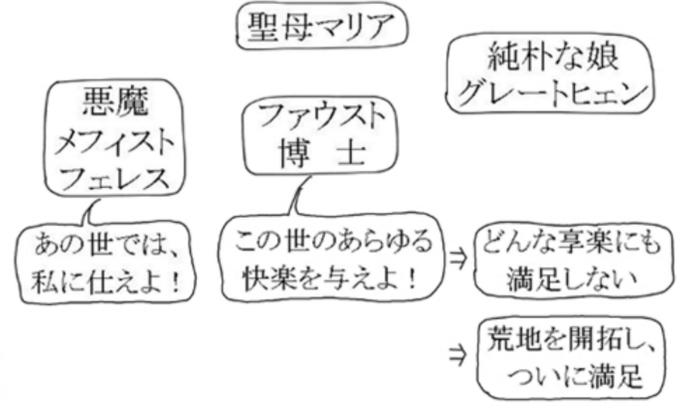


▲D

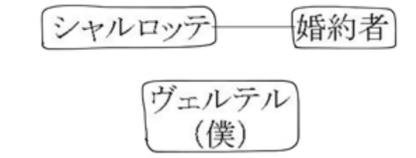


▲E

ゲーテ『ファウスト』…ドイツ古典主義

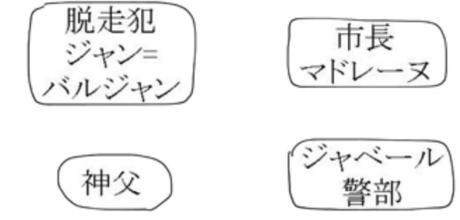


ゲーテ『若きヴェルテルの悩み』



ユーゴー『レ=ミゼラブル』

…フランス=ロマン主義



写実主義、自然主義

- 1 _____ 主義：19世紀中葉。田園風景をありのままに描く。バルビゾン派。
- 2 _____ : 素朴な農民生活を描く。『種をまく人』『落穂拾い』^{おちぼ} 『晩鐘』^{ばんしょう} G
- 3 _____ 主義 (リアリズム)：社会主義の影響、労働者・農民の生活を描く。
- 4 _____ : パリ＝コミューンに参加、投獄。『石割り』Hは第二次大戦で焼失。



▲F



▲G

写実主義(リアリズム)文学:19世紀中葉。ありのままの現実を、感情を交えずに描く。

- 5 _____ : 近代小説の祖。『赤と黒 (1830年代史)』で特権階級に対する青年の敵意を描写。
- 6 _____ : 『ゴリオ爺さん』を含む90編の短編小説集『人間喜劇』で、19世紀の市民社会を描写。
- 7 _____ : 現実の事件に取材した『ボヴァリー夫人』は、不倫を重ねて自滅する女を描く。
- 8 _____ : 新聞記者として下層社会を取材。『オリヴァー=ツイスト』、『クリスマス=キャロル』、『二都物語』
- 英 ^{きょえい} サッカレー : 『虚栄の市』は、下層社会からの脱出をはかる女性を中心に、英の社会・風俗を描く。
- 露 9 _____ : 『獵人日記』で農奴制を糾弾、農奴解放令に影響。『父と子』では虚無主義^{ニヒリズム}を描く。
- 露 10 _____ : 『罪と罰』『カラマーゾフの兄弟』で苦悩する魂の救済を描く。
- 露 11 _____ : 『セヴァストポリ物語』でクリミア戦争、『戦争と平和』でナポレオン戦争を描く。日露戦争では反戦運動。



▲H

スタンダール『赤と黒』
…フランス写実主義

町長夫人

貴族の娘

下層民の
若者ジュリアン

自然主義(ナチュラリズム)：19世紀後半。写実主義をさらに徹底し、社会主義に接近。

- 12 _____ : 『居酒屋』で第二帝政時代のパリの貧民街の悲惨を描写。ドレフュス事件で活躍。
- 13 _____ : フロベールに学ぶ。長編『女の一生』は、夫の不倫、息子の放蕩に苦しむ女性の生涯。
- 14 _____ : 近代演劇の祖。戯曲『人形の家』は、婦人解放運動に影響を与える。

ドストエフスキー『罪と罰』
…ロシア写実主義

金貸しの
老婆と妹

娼婦
ソーニャ

貧乏学生
ラスコーリニコフ



(解答)

- 1.自然 2.ミレー 3.写実 4.クールベ 5.スタンダール
- 6.バルザック 7.フロベール 8.ディケンズ 9.トゥルゲーネフ
- 10.ドストエフスキー 11.トルストイ 12.ゾラ 13.モーパッサン
- 14.イブセン

ゾラ『居酒屋』…フランス自然主義



印象派～20世紀の絵画

1 _____ 派：19世紀後半。形よりも光と色彩を強調。主観的イメージを描く。

☆第2回パリ万博(1867):ナポレオン3世が開催。日本が浮世絵を出展⇒ジャポニズム。

2 _____ : 人物画。浮世絵に学ぶ。『笛を吹く少年』**I**、『エミール=ゾラの肖像』

3 _____ : 風景画。『印象—日の出』**J**、『睡蓮』、『日傘の女』

ドガ : 『踊り子』、『競馬』など、激しい動きを瞬間的にとらえる。

4 _____ : 色彩の魔術師。柔らかな女性画。『ムーラン=ド=ラ=ギャレット』**K**、『浴女』

5 _____ : 後期印象派。深い色調で南仏プロヴァンスを描く。『サン=ヴィクトワール山』**L**

6 _____ : 原色を使いタヒチを描く。『黄色いキリスト』『マリアを拝す』**M**

7 _____ : 激情的な色彩表現。『アルルの跳ね橋』**N**、『ひまわり』『星月夜』

8 _____ : 彫刻家。近代彫刻の祖。『考える人』『カレーの市民』『地獄門』



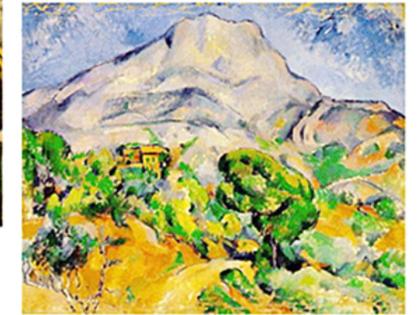
▲I



▲J



▲K



▲L



▲M



▲N

20世紀の美術：遠近法や陰影法のリアリズムを捨て、抽象絵画へ。

ムンク : 対象ではなく画家の内面を描く表現主義の祖。『叫び』**O**

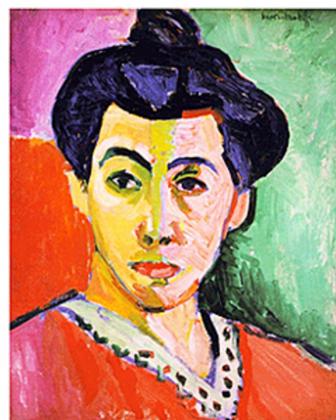
9 _____ : 野獣派。激しい原色と単純な構成。『マティス婦人』**P**、『ダンス』

10 _____ : 立体派。『泣く女』、『ゲルニカ』**Q**はスペイン内戦への怒り。

11 _____ : 超現実主義。フロイトの影響。『記憶の固執』、『内乱の予感』**R**



▲O



▲P



▲Q



▲R



解説動画

(解答) 1.印象 2.マネ 3.モネ
4.ルノワール 5.セザンヌ
6.ゴッホ 7.ゴッホ 8.ロダン
9.マティス 10.ピカソ 11.ダリ

20世紀の文学

プロレタリア文学：20世紀、労働者の苦難を描き、共産主義を賛美。のち、共産党批判も。

露¹ _____：『どん底』で最下層の人々をリアルに描く。レーニンと親交。晩年はスターリンの宣伝に利用される。

露ショールホフ：『静かなるドン』で対ソ干渉戦争を、『開かれた処女地』で集団農場を描く。

露² _____：『ドクトル=ジバゴ』で一党独裁を告発。共産党に批判され、ノーベル文学賞を辞退。

露ソルジェニーツィン：『収容所群島』でソ連の強制収容所の実態を告発。国外追放に。ソ連崩壊後、帰国。

反戦文学：20世紀前半、二つの世界大戦を背景に書かれる。

独³ _____：『西部戦線異状なし』は、第一次大戦を描く戦争文学の傑作。ナチスに追われ、米に亡命。

仏デュ=ガール：長編『チボー家の人々』は、19世紀末から第一次大戦の時期に青春を過ごした兄弟の物語。

仏⁴ _____：『ジャン=クリストフ』は音楽家の生涯を描く。人道主義から反戦・反ファシズムへ。

独⁵ _____：自伝『フッテンホーク家の人々』、『魔の山』でノーベル賞。ナチスに追われ、米に亡命。

米⁶ _____：『武器よさらば』で第一次大戦、『誰がために鐘は鳴る』でスペイン内乱を描く。

英⁷ _____：『カタロニア賛歌』でスペイン内戦、『動物農場』、『1984』でスターリン独裁を風刺。

仏⁸ _____：『人間の条件』で上海クーデタ、『希望』でスペイン内戦を描く。ドゴール政権の文化相。

心理小説：人間心理の動きを描写／実存主義文学：キルケゴールやフロイトの影響。

仏アンドレ=ジイド：『狭き門』『雁金づくりにせがね』。キリスト教道徳と情念との葛藤を描く。

仏プルースト：『失われた時を求めて』は、著者の記憶を掘り起こし、人間心理を分析する長編。

英ジョイス：アイルランド人。『ユリシーズ』は1904年のある一日の3人の男女の心理の流れ。

独⁹ _____：ユダヤ系。実存主義文学の先駆。『変身』『城』『審判』で人間の不条理を追及。

仏¹⁰ _____：アルジェリア出身。レジスタンスに参加。サルトルと親交。『異邦人』『ペスト』

ヘミングウェイ 『誰がために鐘は鳴る』

スペイン
人民戦線政府

フランコ
反乱軍

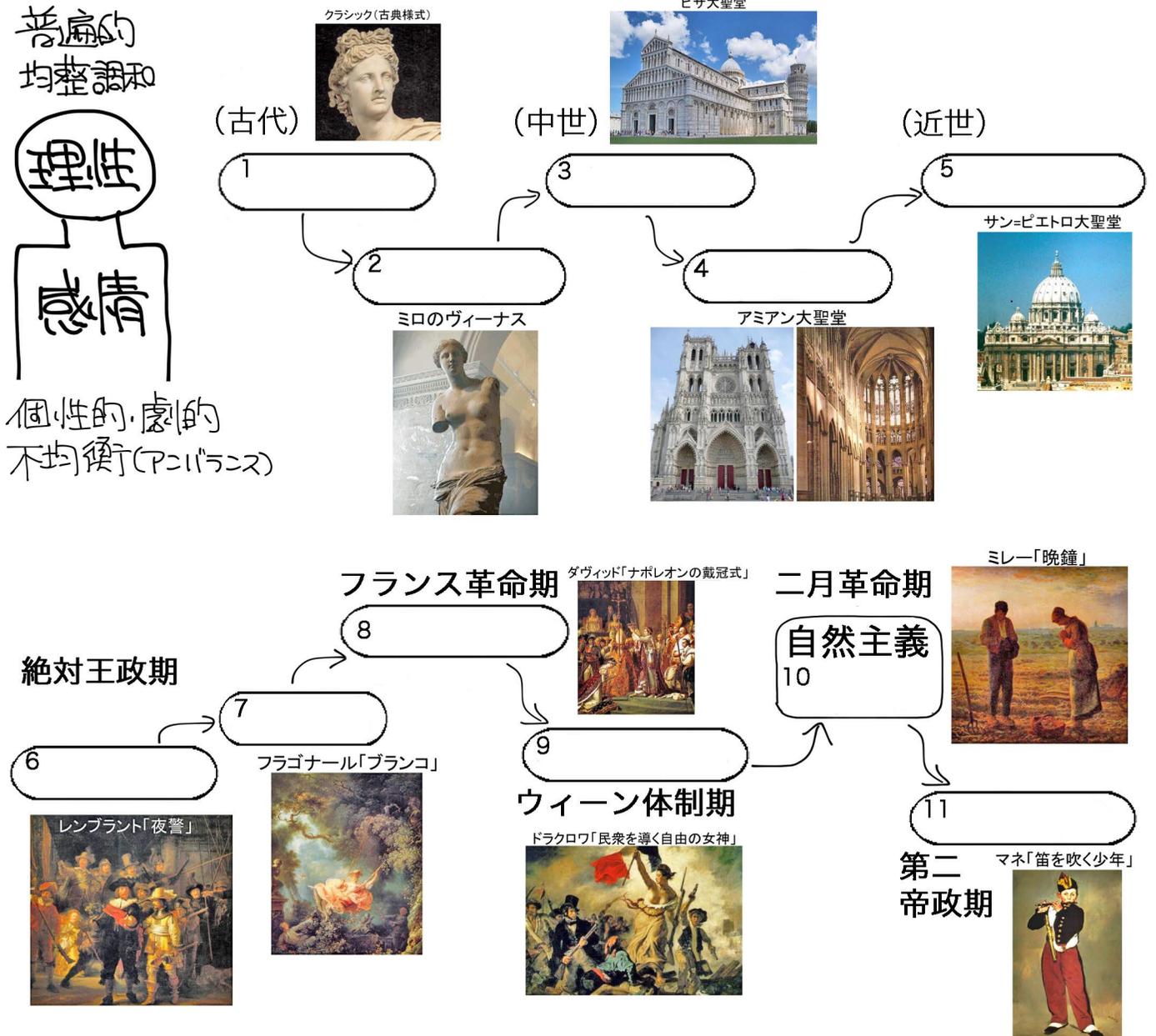
ゲリラ
の少女
マリア

米人義勇兵
ロバート

1. ゴーリキー
2. パステルナーク
3. レマルク
4. ロマン=ロラン
5. トマス=マン
6. ヘミングウェイ
7. オーウェル
8. マルロー
9. カフカ
10. カミュ

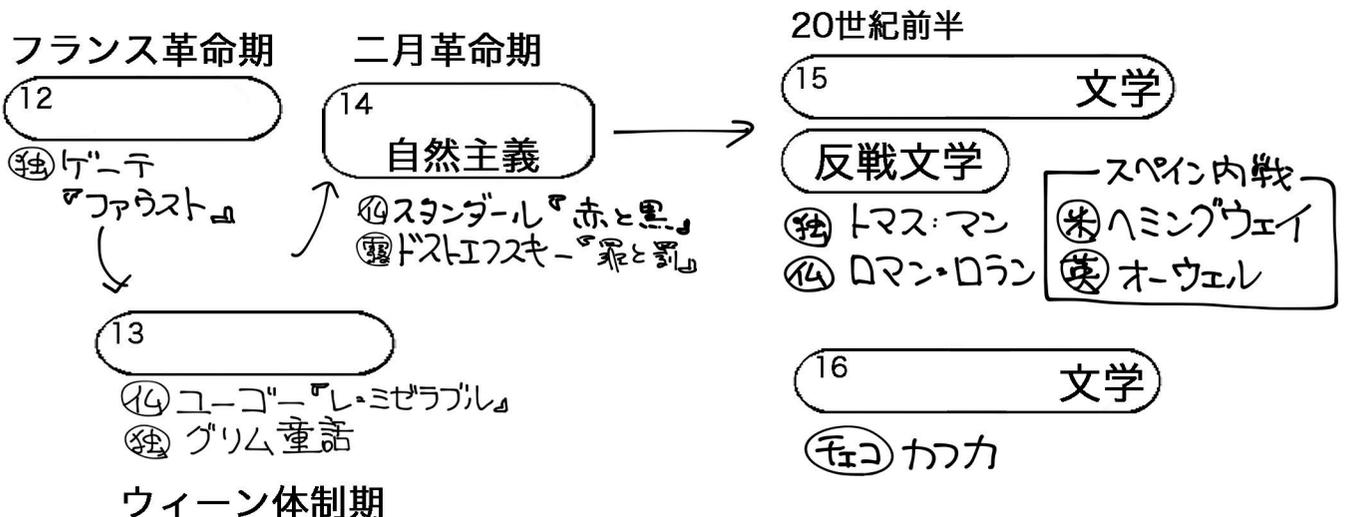
西欧美術史の流れ

1 古典主義 2 ヘレニズム 3 ロマネスク 4 ゴシック 5 ルネサンス
6 バロック 7 ロココ 8 新古典主義 9 ロマン主義 10 写実主義 11 印象派



西洋文学史の流れ

12 古典主義 13 ロマン主義 14 写実主義 15 プロレタリア 16 実存主義



現代の哲学思想



解説動画

☆ 現代の哲学：デカルト以来の理性偏重を批判。感情や無意識までも含む全体としての人間を探求。

- 1 : インド哲学(ウパニシャッド)から^{えんせい}厭世哲学へ。『意志と表象としての世界』。“世界の本質は盲目的な生の意志”
- 2 : 3 主義の祖。「無と絶望」からの救いを信仰に求め、形骸化した教会を糾弾。『死に至る病』(1849)
- 4 : “神は死んだ” 神に代わる“超人”“永劫回帰”の生を肯定。『ツァラトゥストラはこう語った』『善悪の彼岸』。晩年、精神錯乱。
- 5 : ユダヤ系。“生の哲学”で唯物論を批判、「唯心論」を説く。『時間と自由』で時間認識を論じ、ハイデガーに影響を与えた。
- 6 : 『西欧の没落』(1918)。諸文明との比較から、第一次大戦後の西欧文明を、大衆社会、独裁政治を経て没落すると予見。
- 7 : ユダヤ系精神科医。神経症の治療から無意識を発見。 学を確立。ナチスに追われ英へ亡命。『夢判断』
- 8 : 実存主義と生の哲学を融合。『存在と時間』(1927)。民族主義に傾きナチ黨員に。敗戦後、大学から追放される。
- 9 : 対独レジスタンスに参加。『存在と無』(1943)で不条理を論じる。戦後は共産主義に接近。小説『嘔吐』
- 10 : 文化人類学。未開社会の親族関係や神話の構造を研究、 主義を提唱。『野生の思考』(1962)『悲しき熱帯』
- 11

理性の哲学



ヘーゲル

VS

反理性の哲学



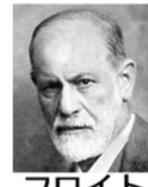
ショーペンハウアー



キルケゴール



ニーチェ



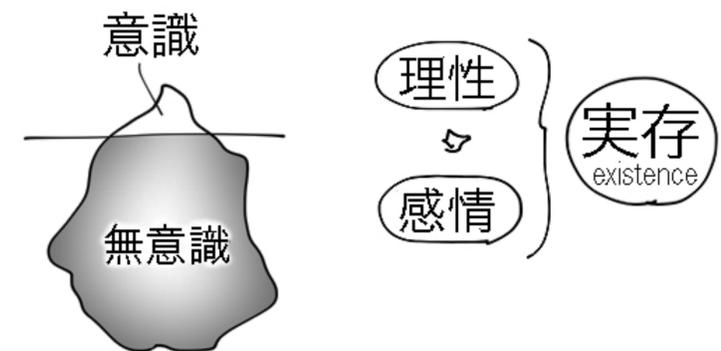
フロイト



ハイデガー



サルトル



1 ショーペンハウアー 2 キルケゴール 3 実存 4 ニーチェ 5 シュペングラー
6 フロイト 7 精神分析 8 ハイデガー 9 サルトル 10 レヴィ=ストロース 11 構造